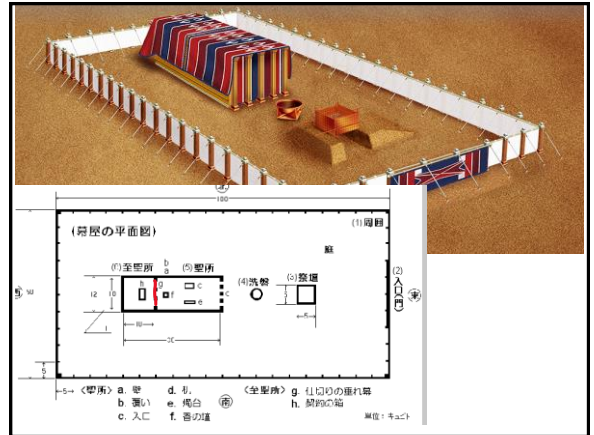


「神との本当の関係に 生きる」

ヘブル人への手紙4章14~16、
10章19~20節

1



2

こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を開いてくださいました。

ヘブル10:19-20

さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な大祭司がおられるのですから、信仰の告白を堅く保とうではありませんか。私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでしたが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ヘブル4:14-16

3

いけにえの制度という模型

- 神の幕屋が教える2つのこと
- いっしょに住みたいという神の愛とそれを妨げる人間の罪(エデンの園の追放)
- 彼らにわたしのための聖所を造らせよ。そうすれば、わたしは彼らのただ中に住む。出25:8
- その場所でわたしはイスラエルの子らと会う。そこは、わたしの栄光によって聖なるものとされるわたしは会見の天幕と祭壇を聖別する。またアロンとその子らを聖別して、彼らを祭司としてわたしに仕えさせる。わたしはイスラエルの子らのただ中に住み、彼らの神となる。出29:43-45

4

いけにえの制度という模型

- その風の吹くころ、彼らは、神である【主】が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である【主】の御顔を避けて、園の木の間に身を隠した。創世3:8
- その垂れ幕を留め金の下に掛け、垂れ幕の内側に、あかしの箱を運び入れる。その垂れ幕はあなたがたのために聖所と至聖所との仕切りとなる。出26:33
- これにケルビムを織り出す。26:31、創世3:24
- すると見よ、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。マタイ27:51

5

いけにえの制度という模型

- いけにえの制度は、罪の恐ろしさを教える。
- 礼拝者が自分の手で犠牲の動物を殺さなければならなかった。
- 礼拝者は自分の罪を認め、罪の赦しの道を与えて下さった主のあわれみに感謝した。
- 神が求めるのは「砕かれた心」と「感謝」詩50-51
- 人はそれを自分に都合の良い「赦しの制度」に変えてしまう傾向があった。

6

イエス・キリストの十字架が本物

- この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。 1ヨハネ2:2
- キリストは、本物の模型にすぎない、人の手で造られた聖所に入られたのではなく、天そのものに入られたのです。、、、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。ヘブル9:24、26
- ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいで、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。ヘブル4:16

7

イエス・キリストの十字架が本物

- 主の十字架は2つのことを教える
- 人間の罪の深さと神の愛の深さ
- アインシュタインの2つの無限
- クリスマスが知っているもう一つの無限
- 主の十字架は仕切りの垂れ幕を真っ二つに裂いて、神との関係を回復させた犠牲の死
- 福音を変えてしまう傾向に注意
- 福音が私たちを変える！ローマ12:1-2

8

イエス・キリストの十字架が本物

- 主の十字架が回復させた神との本物の関係の中で生きることを学ぶ。学びながら生きる＝弟子
- 「済みより住み」罪の代価の支払い済みより、神といっしょに永遠に住む。支払い済みにするのが目的ではない。いっしょに永遠に生きるのが目的。
- 「赦しと許し」神は私たちが赦してくださいました。私たちは神が私たちの心を、人生を治めることを許す。
- クリスマスになることは、自分の人生のオーナー/経営者が変わること。イエス様を自分の主とすること。(新しいマネジメントの下で生きること)
- 神の愛を受け入れ、その愛に動かされて、神に従って生きる。そうすれば日々変えられて行く。日々新たにされる。

9

イエス・キリストの十字架が本物

- 旧約の時代のいけにえの制度は、イエス様の十字架の影であり、模型であった。ヘブル10
- それは人間の罪の深さと神の愛の深さを教えてくれた。
- イスラエルは、いけにえの制度を自分に都合の良いものに変えてしまった。
- クリスマスは、十字架の福音を自分に都合の良いものに変えてしまっただけではない。自分を変えていただかなければならない。ローマ12:1-2、テス2:14、2コリント4:16

10

神との本当の関係に生きる

ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。
ローマ12:1-2

11

神との本当の関係に生きる

キリストは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心な選びの民をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです。テス2:14 (十字架の目的)
ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。2コリント4:16
宗教的な関係ではなく、毎日、本当の関係の中で生きましょう。

12